

# ご存じですか！文化財

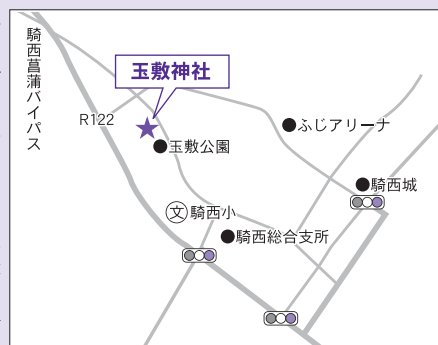
## 「玉敷神社の森とイチヨウ」

市指定天然記念物  
昭和63年3月31日指定

35



問合せ  
騎西教育事務所  
(☎0480・73・7610)



所在地 騎西552

今回ご紹介する玉敷神社の森は、いわゆる社寺林であり、「鎮守の森」として「神の宿る神秘的な場所」、つまり「入らずの森」としてあまり人の手が加えられずに、大切に守られてきました。

いわゆる「鎮守の森」は、タブノキ・クスノキ・ケヤキ・モミ・スギやイチヨウなどの巨木が天にそびえているのが特徴の一つです。巨木には、「神が天界から地上へ降下するための足がかり」との信仰があります。

玉敷神社の森にもスタジイ・シラカシ・クスノキなどの大木があり、特に二本のイチヨウは樹齢500年と推定される巨木です。樹高は30メートルもあり、幹周は

5メートルと6メートルです。騎西地区ではかつて麦作が盛んだったところ、玉敷神社のイチヨウが色づくのを待って、種をまいたといいます。

また「鎮守の森」は、タカやフクロウ類など肉食性の鳥たちのすみかでもありました。これらの鳥たちは、田畑を荒らすネズミやモグラなどの害虫の天敵で、昔の農家にとって、「鎮守の森」は大切な意味を持っていました。玉敷神社の森も同様に地域の人々の生活と密接な関係を持ってきました。

地域の自然風土の特徴をよく示す貴重な自然環境をこれからも大切に残し、生かしていきたいものです。

### 紹介者

来須 芳秋さん(辛荑)

